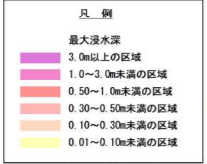


泉佐野市雨水出水(内水)浸水想定区域図【想定最大規模降雨】 4-1



1. 概要説明

(1) この図は、大雨による公共下水道や水路等からの溢水や、河川の水位上昇により河川に排水できずにマンホールから水があふれたりすることによる浸水（「内水浸水」といいます）について、想定される浸水区域と浸水深を示したものです。

(2) この図は、令和4年3月末現在の土地利用状況、公共下水道、水路等の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨（1時間最大雨量147mm）により公共下水道等が冠水した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) シミュレーションの範囲にあたっては、河川（泉川、東田川、後野川、野井川、田尻川）が破壊または浸透した場合の氾濫、津波や高潮による氾濫、落葉やごみ等が公共下水道等に詰まったことによる浸水等を考慮していません。今回想定した浸水区域や最大浸水深が実際のものと異なる場合があります。

2. 基本事項

(1) 作成主体 泉佐野市上下水道局下水道整備課

(2) 作成時期 令和2～3年度

(3) 浸水想定手法 「内水浸水想定区域図作成マニュアル（案）令和3年7月 国土交通省水資源部「内水浸水想定区域図作成マニュアル」に準拠

(4) 対象範囲 公共下水道全体計画区域及び土丸、大木地区の一部

(5) 想定降雨規模 市内に1時間あたり147mmの降雨（「浸水想定（洪水、内水）の作成等のための浸水想定最大規模降雨法 平成27年7月国土交通省 水資源部「国土保全法」に準拠）

3. その他

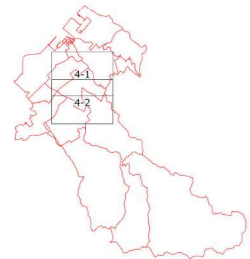
(1) この図は、水防法第14条の2の規定に基づく雨水出水（内水）浸水想定区域を指定するものではありません。

(2) 着色された場所は、他の場所よりも浸水の可能性が高い場所ですので、大雨時には注意が必要です。また、この浸水想定区域は計算に基づくものですので、必ずしも浸水が発生するというわけではありません。

(3) 着色のない場所でも、雨の降り方によっては浸水が発生する可能性がありますので注意して下さい。



泉佐野市雨水出水(内水)浸水想定区域図【想定最大規模降雨】 4-2



凡例

最大浸水深	3.0m以上の区域
	1.0~3.0m未満の区域
	0.50~1.0m未満の区域
	0.30~0.50m未満の区域
	0.10~0.30m未満の区域
	0.01~0.10m未満の区域

1. 概要説明

(1) この図は、大雨による公共下水道や水路等からの溢水や、河川の水位上昇により河川に溢水できず、下水道から水が溢れ出すことによる浸水（「内水浸水」といいます）について、想定される浸水区域と浸水深を示したものです。

(2) この図は、令和4年3月末現在の土地利用状況、公共下水道、水路等の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨（1時間最大雨量14mm）により公共下水道等が冠水した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) シミュレーションの実施にあたっては、河川（泉川、佐野川、櫻井川、田原川）が破壊または超過した場合の冠水、津波や高潮による冠水、落葉やごみ等が公共下水道等に詰まったことによる浸水等を考慮していません。奇形異常した浸水区域や最大浸水深が実際のものと異なる場合があります。

2. 基本事項等

(1) 作成主体：泉佐野市上下水道局下水道整備課

(2) 作成時期：令和2～3年度

(3) 浸水想定手法：「内水浸水想定区域図作成マニュアル（案）令和3年7月版」に準拠し、国土交通省水管理・国土保全局下水道課に準拠

(4) 対象範囲：公共下水道全体計画区域及び土井、大木地区の一部

(5) 想定降雨規模：市内に1時間あたり14mmの降雨（「浸水想定（洪水、内水）」の作成のための浸水想定手法の浸水想定手法、平成27年7月国土交通省 水管理・国土保全局）に準拠

3. その他

(1) この図は、水防法第14条の2の規定に基づく雨水出水（内水）浸水想定区域を指定するものではありません。

(2) 着色された場所は、他の場所よりも浸水の可能性が高い場所ですので、大雨時には注意が必要です。また、この浸水想定区域は計算に基づくものです。必ずしも浸水が発生するというわけではありません。

(3) 着色のない場所でも、雨の降り方によっては浸水が発生する可能性がありますので注意して下さい。

